

科目名:工業簿記演習	講義・演習	担当教員名: 久富 肇	実務経験 無
1年次 4期	30時間	必修	
授業の到達目標及びテーマ 1. 製造業における仕訳や原価の概念を理解し、原価計算方法(個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算)ごとの目的を知る。最終的には製造業会計のしくみが理解できる。 2. 日本商工会議所主催簿記検定2級合格の実力を養う。			
授業の概要 ・材料、労務費、経費などの費目別や直接費・間接費などの原価をしっかりと学び、原価計算では正確な計算力を習得する。標準原価や直接原価を求める目的は何かを意識させ、原価差異分析やCVP分析につなげる。			
授業計画			
1	工業簿記の基礎知識と勘定体系の流れ		
2	材料費の処理(予定消費原価を用いる場合)		
3	労務費の処理(予定消費原価を用いる場合)		
4	個別原価計算の処理、製造間接費の配付		
5	個別原価計算の処理(予定配賦率を用いる場合)		
6	部門別個別費の予定配賦		
7	総合原価計算 月末仕掛品の計算		
8	工程別原価計算、組別総合原価計算		
9	等級別原価計算 (仕損じと減損)		
10	製造原価報告書作成		
11	標準原価計算 原価標準		
12	標準原価計算 原価標準		
13	直接原価計算と全部原価計算、固定費調整		
14	損益分岐点の売上高、安全余裕率		
15	まとめ 試験		
テキスト スッキリわかる日商簿記2級売業簿記 TAC出版			
使用教具・参考書等 ①計算器具として電卓②検定試験対策として網羅式日商簿記2級過去問題集			
評価の方法と基準 定期試験時にペーパーテスト(100点中60点以上合格) 受講態度と小テスト、検定結果を加味する			